

至徳

射水市立金山小学校

学校だより

令和7年8月29日

No. 5



長い夏休みを終え、8月27日（水）より2学期が始まりました。休み中、事故もなく無事に2学期を迎えることができたことを、とても嬉しく思っています。連日の猛暑でどんなふうにご過ごしていたのか心配でしたが、子供たちからは、夏休みに過ごしたたくさんの楽しい出来事を聞くことができ安心しました。2学期も元気に過ごしてほしいです。

感謝の心を伝えるために

始業式において、「感謝の心」について話しました。金山小学校の学校教育目標は「至徳の心をもった活力ある子供の育成」としています。「至徳の心」とは、人や自然に感謝の心を持ち、自分ができることを精一杯やり遂げようと努める精神や態度と捉えています。2学期始めに当たり「感謝の心」について子供たちに話しました。子供たちは少し緊張した様子で聞いていました。

< 2学期始業式 式辞（抜粋） >

「感謝の心を持ち、伝える」

今日は、「感謝の心」についてお話しします。金山小学校は、これまでもずっと「感謝の心をもつこと」を大切にできています。それは学校だよりのタイトルにもなっている「至徳」という言葉にもこめられています。みなさんは、たくさんの人に日々感謝して過ごしていますか。「いつもやさしくしてくれてありがとう」と友達に、「たくさん勉強を教えてくださいありがとうございます」と先生方に、「登下校のときなど見守ってくださりありがとうございます」と地域の方に、「数え切れないくらいのことをいつもありがとう」と家族に、その他にもたくさんあると思います。これらのことは当たり前のことではありません。もし、今話したようなことがなくなってしまったら……と思うと、やっぱり感謝しないといけないですね。

そして、大切なのは感謝の心をその人に伝えることです。伝えるためには「ありがとう」と言葉で言うことも大切ですが、その他にも大切なことがあります。それは、その心を態度や行動で示すことです。「友達にやさしく話しかける」「先生の話や友達の話真剣に聞く」「勉強や運動に全力で取り組む」「姿勢を正しくする」「挨拶をしっかりかわす」「自分から進んで行動する」等、態度や行動で示すことで、より深く、強く、相手に感謝の心が伝わります。

2学期は、学習発表会、感謝の集い等の行事があります。大きな行事は、感謝の心を伝えるよい機会です。どうか一生懸命に取り組む姿を見せてください。必ず感謝の心が伝わるはずですよ。そして、感謝の心を伝えることができたとき、自分がさらに成長していくこととなります。

みんなが成長できる、素敵な2学期になることを期待しています。



猿楽小学校交流活動の様子から（7月20日、21日）

20日は、両校児童による集会とPTAによる金山活動でした。集会では、5・6年生が企画し、「金山のすてき」をまとめたものを、クイズを交えながら楽しく伝えました。

金山活動では、「自然遊び体験」「創作体験」「里山体験」「収穫体験」の4つのコースに分かれて、それぞれが体験活動を楽しみました。どの活動でも生き生きとした子供たちの姿を見ることができました。



<金山のすてき発表>



<集会>



<自然遊び体験>



<創作体験>



<里山体験>



<収穫体験>

21日は、両校児童で室堂散策を行いました。夜には猿楽会より打ち上げ花火のプレゼントがありました。また、手持ち花火をみんなで楽しみました。



<室堂散策>



<打ち上げ花火>

PTA 親子除草ありがとうございました

8月24日にPTA親子除草を行いました。早朝よりたくさんの皆様にご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。グラウンドや校舎周り、畑周辺等、たいへんきれいになりました。おかげで気持ちよく2学期を迎えることができました。本当にありがとうございました。

